

テーマ 『漫画「はだしのゲン」の継承について、  
漫画と講談が訴えていること』

ゲスト

# 講談師神田香織さん 講談とトークイベント

司会・聞き手：二村知子



## 第一部、講談「はだしのゲン」神田香織

## 第二部、アフタートーク「はだしのゲンの継承について」

広島市教育委員会は、現在、小学3年生の平和教育の教材に採用している「はだしのゲン」について「漫画の一部では被爆の実相が子どもたちに伝わりにくい」などとして、2023年度から使用せず、別の内容に差し替えることを決めました。

漫画には、作者の中沢啓治さんが実際に体験したこと、見たことを「ゲン」の目を通して描かれています。言論統制などで民衆を侵略戦争に動員し、なぜ原爆投下されたのかという歴史的な社会背景までも理解できるものです。検証した有識者の議論で、「児童の生活実態に合わない」などと指摘されていましたが、戦時下の暮らしと現在の生活とは異なっていて当たり前なのです。

ゲンの父親が家屋の下敷きになり、火の手が迫る中で、ゲンに逃げるように迫る場面も、教材では使われなくなるそうです。そのシーンをの中沢啓治さんは、涙を流して描かれていたそうです。二度と、このような悲惨な戦争の過ちを繰り返さないために、思い出したくない記憶を振り絞って描かれたのではないのでしょうか。そんな場面が排除されてしまうのです。

「はだしのゲン」はこれまでに、世界で24の言語で翻訳され、戦争や原爆の悲惨さを伝えてきました。にもかかわらず、広島市教育委員会が平和教育の教材から削除したことに、強く抗議する意味でイベントを企画しました。

イベントでは、「はだしのゲン」を1986年から、37年もの間、講談で語り続けて来られた講談師の神田香織さんをお招きして一席披露して頂きます。福島いわきのご出身で、原発事故の前から、ノーベル文学賞作家のスヴェトラナ・アレクシエーヴィチの「チェルノブイリの祈り」を原作にした反原発講談などで、社会派として知られた神田さんには、ぜひ一度、お越し頂きたいと思っていたのですが、今回、この「はだしのゲン」の排除という事件にあたり、お願いしたところ、東京からの来阪を快諾して下さいました。アフタートークショーでは、交流のあった中沢啓治さんについて、さらに反核、反戦への思いも語って頂こうと思います。「はだしのゲン」を継承するためにもこの機会に、ぜひご参加下さい！

会場：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）  
大阪府中央区大手前1丁目3-49 地下鉄天満橋・京阪天満橋下車徒歩5分  
ドーンセンター パフォーマンス・スペースにて、リアル(限定150名)  
リアルトークイベント(要予約・事前購入制とさせていただきます。申込み順)  
●費用：3,800円(内訳：参加費3,052円+本代「はだしのゲン 第1巻 748円」汐文社)  
4,980円(内訳：参加費3,000円+本代「3.11後を生き抜く力声を持って 1,980円」インパクト出版会)  
5,700円(内訳：参加費2,972円+本代「はだしのゲン 第1巻 748円」汐文社+「3.11後を生き抜く力声を持って 1,980円」インパクト出版会)  
本無し ●費用：3,500円 ※当日の場合：参加費500円アップになります。  
※振込先 三井住友銀行上町支店(普通)1353923 カ)リユウショウカンシヨテン  
※お振込みのお客は、振込票をご持参ください。  
※お振込みのお手続きをされていない方のみ連絡させていただきます  
申込み・お問合せ：隆祥館書店 TEL:06-6768-1023  
住所：大阪市中央区安堂寺町1-3-4 地下鉄谷町6丁目⑦番出口向かい  
Eメール：ryushokan@eos.ocn.ne.jp  
主催：隆祥館書店 協力：汐文社・インパクト出版 詳細は：http://atta2.weblogs.jp/ryushokan/

### プロフィール

#### 神田香織(かんだ・かおり)

福島県磐城女子高校卒業後、東京演劇アンサンブル、渡辺プロダクションドラマ部を経て1980年二代目神田山門下生となる。2011年の震災後、NPO ふくしま支援・人と文化ネットワークを立ち上げふるさと福島を支援し続けている。1986年「はだしのゲン」1988年「はだしのゲン2」、1989年真打昇進、2002年「チェルノブイリの祈り」2008年「フラガール物語」2013年「福島の祈り」オリジナル作品「いわき発安寿と厨子王物語」「米軍ジェット機墜落悲しみの母子像」その他多数。1986年「講談はだしのゲン」で日本雄学大賞受賞2010年松井やよりジャーナリスト特別賞受賞2012年多田匡子反核力人権賞受賞「3.11後を生き抜く力声を持って」インパクト出版会

### 司会・聞き手：

#### 二村知子(ふたむら・ともこ)

井村雅代コーチ(当時)に師事し、シンクロナイズドスイミングを始め、現役時代はチーム競技で2年連続日本1位、日本代表として2年連続世界3位に。現役引退後、隆祥館書店に入社。2011年から「作家と読者の集い」と称したトークイベントを開催、2016年からは「ママと赤ちゃんのための集い場」を毎月開き、2019年4月からは、宝上真弓先生と子育てに悩む親御さんのために絵本選書の無料サービス、2020年6月より、お客様からのリクエストを受け一万円選書を始めている。



2023  
4/1  
14:00 ~ 16:00



申し込み住所

お名前(フリガナ)

お電話

( ) -